

選 択 科 目 対 策

のご案内

① 選択科目入門セミナー【労働法・倒産法】

TAC動画チャンネルにて無料配信中！

選択科目「労働法」「倒産法」の勉強の方法・概要・ポイントを、TAC・Wセミナー専任講師がわかりやすく解説します。労働法、倒産法の対策をこれから始める方はもちろん、選択科目の勉強が初めての方も必見です！

◆TAC動画チャンネル◆

>> <http://www.tac-school.co.jp/tacchannel/kouza8010.html>

② 2011年新司法試験合格者講義 労働法1位答案解説

～労働法1位(76.04点)の答案はこれだ！～

受験生の中での占有率が新司法試験開始の時より1番高い科目であるものの、受験のための資料もそれに比例して多く、受験生が準備しやすい科目になっています。その結果、相対的に上位の答案を書くのが難しくなっているといえます。本講座を担当する講師は、労働法で76.04点という高得点を獲得しました。いかに相対的に上位に浮上する答案を書くのかにつき、受講生に伝授します。

開講一覧

■DVD講座

【開講地区】

札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・早稲田校・池袋校・渋谷校・立川校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校

■Web通信講座・DVD通信講座

お申込後発送

受講料(5%税込・教材費込)

受講スタイル	通常受講料	本科生・バック生割引受講料
■DVD講座	¥6,000	¥3,000
■Web通信講座	¥6,000	¥3,000
■DVD通信講座	¥7,000	¥4,000

※入会金は不要です。※本科生・バック生割引は生協・書店・e受付ではお申込みいただけません。

※本科生・バック生割引受講料対象コース

・2012年合格目標新司法試験本科生・バック生

・2012年合格目標予備試験本科生・バック生

③ 2012年合格目標 選択科目集中講義【労働法・倒産法】

必要十分な基本的知識の範囲を明確化し、効率化を図る！

合格に必要な項目・論点に絞った講義を行いますので、効率的な本試験対策が行えます。選択科目の中でも、特に人気の高い「労働法」「倒産法」の集中講義を実施します。

■担当講師

労働法：指宿昭一先生

倒産法：林克彦先生

■講義時間

3時間/回

■回数：各科目全8回

■教材

<労働法>

①有斐閣 労働法判例百選

②弘文堂 労働法9版 ③オリジナルレジュメ

※1・2は別売りとなります。受講料には含まれておりません。各自でご用意ください。

<倒産法>

①有斐閣 倒産法判例百選4版

②弘文堂 倒産法概説 2版 ③オリジナルレジュメ

※1・2は別売りとなります。受講料には含まれておりません。各自でご用意ください。

注)当講義は前年度実施の「2011年合格目標 選択科目集中講義」と同じ講義です。前年度受講された方はご注意ください。

開講一覧

通学

■DVD講座

開講地区	開講日
札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・早稲田校・池袋校・渋谷校・立川校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校	順次受講可

※教室講義の実施はありません。

通信

■DVD通信講座

順次受講可

受講料(5%税込・一部教材費別)

受講スタイル	通常受講料
■DVD講座	各¥36,000
■DVD通信講座	各¥44,000

※0から始まるTAC会員番号またはWセミナー会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金¥10,000(5%税込)が必要です。会員番号についてはTAC各校までお問い合わせください。

本科生・バック生特典

対象講座 選択科目集中講義

オプション講座割引制度

2012年合格目標「総合本科生及び本科生・バック生(解説あり/解説なし)」をお申込みの方は、オプション講座「選択科目集中講義」を割引価格にてお申込みいただけます。

④ 2012年合格目標 選択科目書き方講座【労働法・倒産法・知的財産法・経済法】

労働法

労働法はご存じのとおり司法試験で最多数の受験生が選択する科目です。最多数の受験生が選択する科目であることから、受験するための資料も手に入りやすく、受験生のレベルもその分ハイレベルになります。こうした受験生の中から頭一つ抜け出すためには、正しく過去問を検討する術を身につける必要があります。本講義では、第1回新司法試験から労働法について徹底した分析を行っている講師が、過去問を解析します。そして、単に過去問を解説するだけでなく、重要最新判例や学会の新しい問題意識を反映しつつ、問題の解き方、書き方までフォローできる講義です。

論文
対策

■通学・通信講座 担当講師 いひずき しやういち 指宿 昭一先生（弁護士、TAC・Wセミナー専任講師）
■講義時間 3時間／回
■回数 全4回
■教材 労働法過去問攻略ポイントレジュメ

講義内容表	前半	後半
第1回	平成18年 第1問	平成18年 第2問
第2回	平成19年 第1問	平成19年 第2問
第3回	平成20年 第1問	平成20年 第2問
第4回	平成21年 第1問	平成21年 第2問

倒産法

倒産法は、司法試験において労働法に次ぐ受験生の人気を誇ります。それに従い、受験用資料も豊富で、受験生間の競争も激しくなります。そんな中、倒産法で合格答案を書くためには、過去問分析が不可欠です。過去問からは、おおよその傾向、例えば、どの論点をどの程度書かなければならないのか、答案上条文はどれだけ挙げなければならないのかなど知ることができます。ただ、独学では効率的に学習することは困難です。本講義では、担当講師は受験生時代から倒産法を得意とし、実務についても倒産法を専門分野とする弁護士が、本試験での出題論点と問題の傾向を分析し、その上で倒産法において合格する書き方についても伝授します。

論文
対策

■通学・通信講座 担当講師 おおよま さだのぶ 大山 定伸先生（弁護士、TAC・Wセミナー専任講師）
■講義時間 3時間／回
■回数 全4回
■教材 倒産法攻略ポイントレジュメ

講義内容表	前半	後半
第1回	出題分野から分かる勉強方法	平成20年 第1問
第2回	平成23年 第1問	平成23年 第2問
第3回	平成22年 第2問	平成18年 第1問
第4回	TAC答練問題（2011年実施分）	平成21年 第2問

知的財産法

知的財産法においても多分に漏れず、過去問の検討が合格への近道です。その過去問を見てみると、判例の射程を問う問題や条文の操作を要求する問題が出題されていることに気が付きます。そして、知的財産法においては、事案的的確な分析とこれに即した論述が要求されます。本講義では、4年分の過去の司法試験問題を中心とした問題を題材にして、その傾向に応じた対策を立てていきます。その上で、知的財産法で求められる能力である事案的的確な分析とこれに即した論述の仕方を身につけます。

論文
対策

■通学・通信講座 担当講師 たかむら いちろう 高村 一郎先生（弁護士、TAC・Wセミナー専任講師）
■講義時間 3時間／回
■回数 全4回
■教材 知的財産法過去問レジュメ

講義内容表	前半	後半
第1回	平成19年 第1問	平成19年 第2問
第2回	平成20年 第1問	平成20年 第2問
第3回	平成21年 第1問	平成21年 第2問
第4回	平成22年 第1問	平成22年 第2問

経済法

経済法は、基本的な概念の理解や条文の要件をしっかりと身につけた上で演習に励むことが有効です。そして、過去問を使って演習をする際、経済法の攻略には、論点に即した事実の抽出とその評価の仕方が重要だと気づくはずです。また、経済法には合格するための明確な答案作成パターンがあります。そこで、本講義では、過去問を中心とした問題検討を通じて、事実の抽出と評価能力を身につけ、合格ラインに到達する答案作成パターンを習得することを目的とします。

論文
対策

■通学・通信講座 担当講師 たにむら しやういち 谷村 庄市先生（弁護士、TAC・Wセミナー専任講師）
■講義時間 3時間／回
■回数 全4回
■教材 経済法攻略ポイントレジュメ

講義内容表	前半	後半
第1回	総論講義（経済法の答案の書き方）	
第2回	平成22年第2問	平成20年第1問
第3回	TAC答練問題（2011年実施分）	平成18年第1問
第4回	平成21年第2問	平成23年第1問

開講案内

開講一覧

通学

DVD講座

開講地区	開講日
札幌校・仙台校・水道橋校・新宿校・早稲田校・池袋校・渋谷校・立川校・横浜校・大宮校・津田沼校・名古屋校・京都校・梅田校・なんば校・神戸校・広島校・福岡校	お申込後受講可

※教室講義の実施はありません。

通信

Web通信講座

お申込後順次発送

DVD通信講座

お申込後順次発送

受講料（5%税込・教材費込）

受講スタイル	通常受講料
DVD講座	各¥20,000
Web通信講座	各¥20,000
DVD通信講座	各¥22,000

※0から始まるTAC会員番号またはWセミナー会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金¥10,000（5%税込）が必要です。会員番号についてはTAC各校までお問い合わせください。
※申込コースNo.、クラスNo.等の詳細は新司法試験パンフレットをご参照ください。